

科目名	教育原理						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格	幼稚園教諭二種免許 必修 保育士資格 必修				
授業概要 「教育」については、各々、自身が受けてきた経験を有するだけに、わかったつもりになっていることが多い。その「つもり」から抜け出して、教育の意義・目的について理解するとともに、教育の基本概念、理論、歴史について学び、教育に関する体系的知識を習得する。							
到達目標 歴史的経緯も踏まえつつ、「教育」ということについての正確な知識と理解を深めること。 教育の社会的意義について理解を深め、教育専門職上において必要な視点を培うこと。 また、その教育の実践に際しての制度的・実地的な知識を習得すること。							成績評価方法 定期試験 80% 提出物・受講状況 20%
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) オリエンテーション～なぜ教育原理を学ぶのか ・教養としての「教育」、専門としての「教育」							
2) 教育とはなにか(1) ・語源に見る教育 ・教育の目的 ・教育思想史(1)							
3) 教育とはなにか(2) ・教育思想史(2)							
4) 子ども観と教育(1) ・子どもとは何かを考える ・社会の変化と「子ども」 ・教育と子ども観					資料映像視聴 ディスカッション レポート課題		

5) 学校の社会史 ・学校とはなにか ・学校の成り立ち	
6) 学校の機能と役割 ・学校の社会的機能と存在意義	
7) 現代の学校制度 ・現代の学校体系と教育制度	
8) 学校教育改革 ・現代の学校改革と今後の展望	
9) 社会の変化と教育・保育(1) ・少子化 ・ワーク・ライフ・バランス	
10) 社会の変化と教育・保育(2) ・産業化社会・消費社会 ・子どもたちをとりまく環境としての社会	
11) 生涯学習(1) ・生涯学習の概念と体制 ・学校教育と生涯学習	
12) 生涯学習(2) ・キャリアパスと教育 ・市民社会・高齢化社会と生涯学習	
13) 教育・保育をめぐる政策・制度 ・現代社会と教育・保育 ・子育て支援と現代の制度	
14) 現代社会と教育 ・大衆教育社会と教育 ・ポスト中等教育の現在 ・教育の担い手と効用：地域連携	
15) 「教育」という営みー21世紀の教育に向けての教育論 ・社会の変化の中で ・教えることと学ぶこと	
授業外学習	
関連する新聞記事の購読	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 「子どもと教師のための教育原理」石田美清編著（保育出版社） <参考書> 講義中において適宜紹介する。	保育原理 教育・保育職研究 保育課程論
備考	
「教育」という事象に対し、日常的に関心を寄せること。 また、教育専門職に就くための学習科目として、受講の態度と主体的学習の姿勢を重視する。 【オフィスアワー】	